

令和5年度事業報告書

社会福祉法人 福信会

介護老人福祉施設
短期入所生活介護

麦久保園

目 次

I. 社会福祉法人 福信会

運営報告	1-2
------	-----

II. 特別養護老人ホーム 麦久保園

[1] 各部署事業報告

総務業務報告	3
介護支援専門員業務報告	4
生活相談員業務報告	5
介護部門報告	6
医務業務報告	7
給食業務報告	8
栄養事業報告集計	9-10
リハビリ業務報告	11
防災管理報告	12

[2] 項目別集計報告

稼働率・要介護度分布表・平均年齢	13
日常生活に対する介助等の状況	14
入浴状況・排泄状況・福祉用具等の使用状況	15
病院受診者数 集計表	16
会議・委員会報告	17-21
内部研修一覧	22-23
外部研修、出張一覧	24-25
行事報告	26
クラブ活動報告	27
面会人数	28
ボランティア受入れ	29

III. 短期入所事業 (ショートステイ)

短期入所生活介護事業報告	30
ショートステイ利用状況	30

I . 社会福祉法人 福信会

運営報告

施設長 窪島裕也

新型コロナウイルスの感染症類型が引き下げられ、社会では感染症との共存、通常的生活様式への回復へと変化する中、施設運営の在り方も通常の形に戻していくための1年になりました。重点目標を「3つの整備」とし、教育、サービス、職場環境の整備、見直しに対する報告をさせていただきます。

①職員自身

就業規則やスタッフブックを基準に、職員に対しルールを明確化しました。また、多くの職員が入職したこともあり、基本的なサービスマナーの原点として、ご利用者に対する言葉遣いについて、改めて敬語で接することを基本とすることに、役職員を中心に全職員で取り組みました。組織として求める職員像、階層や経験別に求める役割についても伝えていくことで、適切な評価へと結び付けていく土台が固まったと評価しています。

②生活空間

主にご利用者への配慮について、感染対策が最優先だった対応から、本来当たり前に守るべき視点、サービスについて原点回帰。セルフチェックはもちろん、フロア面会の早期再開や第三者評価の家族アンケートを新たに導入するなど、外部の視点からサービスの状態を確認していただく機会の拡大に取り組みました。

また、環境整備の役割分けとして、新たに清掃担当を配置、介護職員が片手間で行う清掃業務から、専従職員が定期的に行う環境整備の体制を構築しました。結果として共用部を中心に、清潔保持、臭い対策等に効果が出ています。

③職場環境

業務を明確化する柱として、ケアワーカー役職員及びリーダーに対し、外部講師による定期的な階層別研修、チューターの選任及び次世代リーダーとしての研修を実施しました。介護業務のみならず、ルール遵守など社会的役割の視点を養うことにも力を入れてきました。多くの職員にキャリアアップや、役割を課すことで責任ある仕事にトライするチャンスを創っています。

また、職員給食や鍼灸・マッサージ等の福利厚生の充実、労働事故のリスク点検等、職員にとって安心して働ける職場となる取り組みに創意工夫を凝らしてきました。

今年度は、組織としての考え方や体制の見直し、様々な実践の仕組みづくりを中心に、財務状況も合わせ経営基盤の安定化を図りました。

コロナ禍から通常の事業経営へ、サービス、人事、財務、地域貢献などの実践手法の見直しを積み重ねてきました。その効果はスキームの構築や収支結果などに一定の結果をもたらしたと評価します。

Ⅱ. 特別養護老人ホーム 麦久保園

[1]各部署事業報告

総務事業報告

事務局長 五箇忠司

【総論】

主に広告費、ソフト・セキュリティーリース、USEN、節水機などの固定費の見直しや購入品の業者選定により経費削減を行った。また派遣職員の終了、規定人員の直接雇用・未経験職員の育成の実施を行った。

業務効率化を図るためのデジタルツールの教育・浸透を行った。

【事業目標】

1. 部署にて管理する書類、電子データの整理整頓を行います。
2. 施設内のデジタル化を推進します。
3. 無駄をなくすため業務分担の見直しと変更を行っていきます。
4. 法令順守に基づく適切な人員の配置のため、採用計画に沿って人材の採用を行います。

【事業報告】

1. フォルダの整理を行い、不要なものは削除した。
2. メールの送信・添付の方法周知を行い、委員会議事録、行事企画、連絡事項をメールで行うことができた。
3. 給与計算、採用業務担当の教育、効率化を図るための業務性を行った。
書類保管のデジタル化、整理を行った
4. 採用計画に基づき若年層の採用を行った。未経験者の採用も積極的に行い教育システムの確立も施設全体で行った。

介護支援専門員事業報告

介護支援専門員 立川貴史

コロナ禍において、サービス担当者会議もままならず、更にはご家族等代理人の参加、面会もできない状況でも各部署協働でケアプランの作成を行いました。以下、介護支援専門員業務として報告します。

【事業目標】

1. 多職種協働でのケアプランの実現に取り組んでいきます。
2. ケアプラン、アセスメントやモニタリングについて、今一度、他職種と確認し一緒に学びなおします。
3. 加算とリンクさせたケアプランの作成と実践。

【事業報告】

1. コロナ等感染症予防の観点から、会議形式での話し合いができない状況が続いていました。ご利用者と対話によるニーズ把握が難しく、なかなか、ケアプランに反映することもできていませんでした。ご家族ともお会いすることもままならず、相談員との情報共有や担当者からのご利用者の情報照会をもとに、会議録として現状をお伝えしながらケアプラン原案を作成しご本人及びご家族等代理人へ送付、確認しました。モニタリングの確認が担当者会議の直前になっていてケアに適時反映できなかつたため、進め方や内容についても今後確認が必要と考えています。
2. ケアプラン研修の設定とケアワーカーとの協働実施。
サービス担当者会議の予定を担当者自ら確認し、入所時アセスメント表を一部修正して活用することで、ケアの流れを継続できるように意識していただける認識を周知していけるようにしたいと思います。
よりよいケアプランを作成するために自己研鑽をする機会をもつことはできませんでした。ケアプランの内部研修を年2回、ケアワーカー講師にて一緒に行いましたが参加者は少なく、次年度も継続できたらと思います。
3. サービス実施内容が加算要件を満たしているか、常に確認しながらすすめました。介護保険更新手続きは、新型コロナウイルス感染防止の観点からの期間延長も解けてきて、申請から、認定調査の受け入れが再開となり対応、滞りなく手続きできています。介護請求について滞りなく行えました。

生活相談員事業報告

生活相談員 渡邊江美

令和5年度も前年度に引き続き「経営の健全化」への取り組みとして、稼働率の維持向上に取り組むとともに、業務の見直しを図り、確実かつ効率的な業務遂行に努めました。

【事業目標】

1. 毎月・年間稼働率を特養は98%ショートステイは80%とします。
2. 短期入所生活介護では在宅生活でのニーズにあった支援を提供します。
3. 利用者の立場に立ってサービスを考えます。
4. 個人情報保護と正確な業務遂行のため書類整理等に努めます。

【事業報告】

1. 今年度の特養稼働率は98.3%となり昨年度より0.1ポイント増でした。
今年のコロナ感染者は9月に23名、3月に13名でした。
2. 今年度の短期入所生活介護の稼働率は95.4%と昨年度より4.7ポイント増でした。空床利用で稼働率100%超えの月が3か月ありました。
3. 日頃からご利用者やご家族との関わりの中で安心して生活ができ、ご本人らしいAPCが実現できるように努めました。
4. 書類の整理に力を入れ、ペーパレス化も徐々に進み、個人情報の取り扱いに注意してきました。

ケアワーカー

ワーカー主任 平岡 裕哉

【総論】

職員が責任を持ち、ご利用者と寄り添い生活環境と身だしなみを整える。又、マニュアルを活用して教育を行い、根拠に基づいたケアを実践します。

【事業目標】

1. 基本ケアの統一
2. 清潔感ある安全な生活環境づくり、身だしなみを整える

【事業報告】

- 1-① 新入職員へはチューター制度もあり、チューター職員よりマニュアルを教育し、各職員へ年間スケジュールを作成してグループ会議内でマニュアルの周知研修を実施しました。周知度は100%には至りませんでした。周知度の向上につながりケア統一の意識が高まりました。
- 1-② ケア確認シートを年度初めに実施、上半期、下半期と評価を行いできていないことを各グループ確認して改善を行いました。毎食の口腔ケア、週1回のシーツ交換、1日1回のコップ消毒、身だしなみ、髭剃り、爪切りと概ね80%以上、各グループ改善することができました。
- 2-① 各グループの整理整頓、共有物品など不要なものの劣化物品は破棄を行いました。フロアも清潔感ある環境に整えることができました。
- 2-② 上半期ではできていないことが多くありましたが、各ワーカー会議にて話し合いを重ね下半期からは各グループ意識も高まり実施することができ習慣化することができました。

医 務

看護主任 林 啓吾

御利用者の皆様が安心して穏やかな生活を送って頂けるように他部署と協力しながら健康の維持・精神面への配慮に日々努めています。令和5年度では、課題である褥瘡予防対策への取り組み、さらに新型コロナウイルス感染症対策への取り組みを行っています。

【事業目標・計画】

1. 褥瘡予防への取り組みの強化

1-①発生年間0件を目指します。

- ・褥瘡委員会との連携を図り『令和5年度褥瘡ゼロに向けた取り組み』を作成
- ・具体的な褥瘡予防に対する取り組みをマニュアル化

2. 感染対策への取り組みの強化

2-①職員の標準予防策（スタンダード・プリコーション）に対する適切な理解を80%以上とします。

- ・感染対委員会との連携を通し標準予防策の研修の実施、マニュアル化、感染対策確認シートの活用による持続的な感染対策の見直し

【事業報告】

『令和5年度 褥瘡ゼロに向けた取り組み』を掲げ、褥瘡予防委員会と協力し、ポジショニングやシーティングの見直し、褥瘡発生の集計システムの活用や褥瘡治療過程の経過記録の強化を行っています。その結果、褥瘡の発生は減少しています。しかしながら、褥瘡発生を0件とする事はできず、次年度「褥瘡研修」「オムツ交換の時間や方法の見直し」「体位交換方法の見直し」「除圧の遂行」を褥瘡予防委員会と連携し推進していきます。

感染対策への取り組みとして、感染対策・標準予防策の浸透を図るためシミュレーションの実施と研修を感染対策委員会と連携し実施しています。理解度の目標数値には至っていませんが、引き続き標準予防策の浸透を図り感染予防を図ってきます。

給食事業報告

管理栄養士 島田裕介

『食』を通じて充実した生活を送って頂けるように【食事の美味しさ、楽しさ】の向上に着目して日常生活及びイベントに取り組んで参りました。またミールラウンド、カンファレンスにて御利用者の摂食機能に応じた食事提供を多職種にて実施し経口維持支援し QOL 向上に努めました。

【事業目標】

1. 毎日の食事評価を実施し美味しさの向上を目指します。
2. 日々の喜びにつながるような取り組みをしていきます。
3. 厨房の業務改善をします。
4. 適正な栄養マネジメント実施します。

【事業報告】

1. ご利用者の状態変化に即応するため、栄養士がミールラウンドを定期的に行い、部署内周知の徹底を行うと同時に部署間連携を通して分析、最善策を探りながら迅速な対応を行ってきました。多職種の意見を参考に、美味しさや見た目を向上させるため、記録を残し、振り返りながらクオリティの底上げを行ってきました。
2. 嗜好調査などの結果を考慮して献立作成と提供方法を練り、どなたでも満足頂ける内容(寿司の日の希望選択)を盛り込み、手作りや色彩などの見た目と特別感(手作りおやつの日・お誕生者の祝いの1品・手作りパンの提供・調理員による握りずし・スイーツバイキング)の企画・演出・提供までこだわりました。
3. 給食システムで栄養管理、献立作成を実施。栄養バランスのとれた献立を提供しています。園の食事で栄養が充足される様、ご利用者様、検食者の評価感想、残菜量を基に改善、反映するように努めました。また食事の見た目、食べ応え、食べやすさ、食感について考え、日々“より良い食”の提供を実践していきます。
4. 栄養状態が高リスクの方には他職種と連携し補助食品の検討を日々おこなっており、状態をみて改善されていれば提供を中止しています。給食費については月時で確認が取れておりますが、昨今の価格上昇のあおりを受けながらも日々の見直しをしながら予算との差を最低限に留めております。予算に沿った人件費、物品消耗費の管理も定期に行っています。

令和5年度も限られた資源の中で1日3食の食事提供に想いをどれだけ表現できるかを念頭におき、安全安心の食の提供にまい進して参ります。

栄養事業 報告集計

〔1〕 栄養給与量（摂取量）／日

	エネルギー	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミン(mg)		食塩
	(kcal)	(g)	(g)	(mg)	(mg)	B1	B2	(g)
給与栄養目標量	1527	59.7	43.1	631	6.3	0.86	0.86	6.8
令和4年度年間平均給与量	1513	60	48	539	10	1	0.9	6.6
令和5年度年間平均給与量	1506	58.9	44.1	530	8.6	1	0.9	6.7

（実績）

※ 食料構成に基づき献立を作成し、上記の結果となりました。

上記項目にはありませんが、VCの値が不足

していますので、果物・ゼリー類・嗜好飲料等で補うよう努めて参ります。

〔2〕 食事形態及び人数

令和6年3月31日現在

食事形態	人数
常食	18名
キザミ	17名
軟菜	36名
ペースト	23名
流動食(経管栄養)	2名
合計	96名（入院者2名）

〔3〕 健康食（療養食）

令和6年3月31日現在

∅ 糖尿食 4名

∅ 減塩食 3名

∅ 貧血食 8名

(R4.4.1～実施)

〔4〕希望選択食【寿司の日】

実施内容

出前の寿司、もしくは園で提供の寿司2種から1品選択の方式を採用しました。

※6月～9月は生もの提供控えるため寿司以外の選択有り。

鮪二色丼、鮪漬け丼、太巻き寿司、しめ鯖炙り押し寿司、ステーキ、ロコモコ丼

海老天巻き寿司、とんかつ巻き寿司、鶏丼、スタミナ丼、うな丼、ばらちらし、焼豚玉子飯

カニちらし寿司、北海丼、サーモン・烏賊丼、鮪・白身丼 ※内容重複月あり、順不同

〔5〕ス^ペシャル^テー(デザート・手作りパン・寿司)と行事食

デザートス^ペシャル^テー(6月)、敬老会(9月)、

手作りパンス^ペシャル^テー(10月)、クリスマス(12月)、新年会(1月)、職員による握り寿司(3月)

〔6〕手作りおやつの日(季節感を取り入れる内容で実施しました) ※以下実施内容

4月桜ようかん(園庭の桜の葉を使用)、5月ずんだ羊羹 今川焼(ワーカー企画行事協力)

6月牛乳かん、7月わらび餅・水ようかん、8月懐かしプリン、9月おはぎ・ぶどうゼリー

10月芋ようかん たい焼き(ワーカー企画行事協力)、11月栗蒸しようかん、

12月コロナ感染リスク未実施 1月ガトーショコラ・チョコレートムース、2月ロールケーキ・パ^パロア、3月牡丹餅

リハビリ

機能訓練指導員 佐久間勝也

ご利用者の身体機能を把握し、生活動作につながる機能訓練や苦痛を和らげるための対応について検討、見直しを図ることを令和5年度の目標とし、以下の項目について実施しました。

【事業目標】

1. 身体機能、生活動作、精神状態、意欲などについて把握する。
2. ご利用者が苦痛なく過ごせて、楽しみを持って生活できる環境を整備する。
3. 個別機能訓練加算の取得率100%を目指し維持する。

【事業報告】

1. ご利用者理解を深めるために、積極的にご利用者に関わり、職員から日頃の様子をヒアリングした結果、BI評価など身体機能の全体像を把握することができました。次年度はより詳しく身体機能・生活動作の把握ができるように、評価基準を設けます。
- 2-1. 安楽なポジショニングで過ごすことが出来るようするため、外部研修に参加し知識を習得すると共に、体圧計を使用し最適なポジショニングを検討することができました。また、苦痛なく移乗できるトランス方法も適宜検討することができました。
- 2-2. リハビリが楽しみになる環境整備は、集団訓練を行いご利用者の気分転換を図ることができました。次年度は個々のリハビリ目標に合った訓練が出来るようにリハビリ方法を考案していきます。
3. 個別機能訓練計画書を毎月更新し、加算の取得を維持することができました。

令和5年度避難訓練等実施状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
初期消火訓練	○											
日中総合訓練		○								○		
夜間火災想定訓練			○						○			
普通救命講習				○								
土砂想定避難訓練						○						
初期消火訓練												
地域合同防災訓練							○					
福祉避難所開設訓練									○			
日中地震想定訓練										○		
防災研修												○
参加した職員の数	7	33	4	7		20	10		15	35	44	6
消防署への通知の有無	有	有	有	無		有	有		有	有	有	無
訓練実施記録の有無	有	有	有	無		有	有		有	有	有	有

訓練種別

消防署による指導	無
----------	---

[2]項目別集計報告

令和5年度 介護老人福祉施設・短期入所生活介護(ショートステイ)稼働率

I. 介護老人福祉施設(定員100名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
当月利用率	98.5%	99.1%	97.8%	99.6%	85.2%	95.1%	99.2%	98.9%	98.9%	100.0%	99.8%	97.5%	98.3%

II. 短期入所生活介護(定員[専用7床+空床])

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
当月利用率	97.1%	91.2%	97.6%	88.0%	81.1%	96.0%	87.6%	95.7%	105.5%	100.9%	99.0%	105.1%	95.4%

III. 介護老人福祉施設・短期入所生活介護(総定員107名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
累積利用率	98.4%	98.6%	97.8%	98.8%	94.2%	95.2%	98.4%	98.7%	99.4%	100.0%	99.7%	98.0%	98.1%

要介護度分布表 R6 3/31

要支援			男	女
介護度1	2		1	1
介護度2	1		1	0
介護度3	15		4	12
介護度4	55		13	42
介護度5	26		7	19
合計	99		26	73
平均介護度	4		3.90	4.10

男性平均年齢	81.7歳
女性平均年齢	87.2歳
計	85.8歳

日常生活に対する介助等の状況

日常生活に対する介助等の状況		※令和5年3月31日時点	
動作の種類	介助の種類	対象人数	介助の種類による状況
食事	自立	58	自立：自助具などの装着可、標準的時間内に食べ終えことができる
	見守り		
	一部介助	25	一部介助：セッティング、おかずを切って細かくする、エプロンを着ける、箸やスプーン、器など一部介助すれば食事ができる
	全介助	15	全介助：全て介助を要する
着替え	自立	11	自立：靴、ファスナー、装具の着脱を含む
	見守り		
	一部介助	45	一部介助：標準的な時間内、半分以上は自分で行なえる
	全介助	44	全介助：全て介助を要する
整容	自立	11	自立：体を洗う、手や顔を洗う、髪をとかす、歯を磨く、髪をとかすなどの動作を全て一人で行う
	見守り		
	一部介助	42	一部介助：爪切り、耳掃除、歯磨き、髭剃り等について、一部介助すれば行うことができる。
	全介助	47	全介助：全て介助を要する
移動	自立	48	自立：歩行の自立、車椅子の自走が行える
	見守り		
	一部介助	6	一部介助：歩行時側方介助、車椅子自走時介助者による誘導
	全介助	46	全介助：全て介助を要する
移乗	自立	24	自立：ブレーキ・フットレストの操作含む、歩行自立も含む。
	見守り		
	一部介助	23	一部介助：軽度の部分介助、一部介助を行えば移乗を行える
	全介助	53	全介助：全て介助を要する

入浴状況・排泄状況・福祉用具等の使用状況

入浴状況 ※令和5年3月31日時点				
	一般浴（自立）	一般浴（介助浴）	機械浴	機械浴（リフト対象）
1人1週間あたりの入浴回数	2	2	2	2
入浴対象者数	3	73	17	7
1人1回あたりの入浴時間	10分～15分	10分～15分	10分～15分	10分～15分

排泄状況 ※令和5年3月31日時点		
	常時	夜間のみ（18時～6時）
オムツ使用者数	38	19
1人1日あたりの定時交換回	5回	
トイレ誘導者数	61	
1人1日あたりの誘導回数	5回～6回	
自立者数	16	

排泄の自立に移管する施設としての取り組み（自然排泄への取り組み、自立への援助等）	座位、尿意、便意ある方のトイレでの排泄に取り組んでいる。
--	------------------------------

福祉用具等の使用状況 ※令和5年3月31日時点			
	施設保有台数	使用者数	うち個人持込
車椅子	99	85	4
歩行器	8	7	1
エアマット	9	9	0
ポータブルトイレ	8	2	0
センサーマット	6	6	0
スライディングボード	5	4	0
リフト	8	8	0

病院受診者数 集計表

1・健康診断

ご利用者様 7月 実施

職員 5月・10月（夜勤者のみ） 健保加入者・希望者対象

2・御利用者 病院受診者数 病院内訳 令和5年4月～令和6年3月

病院名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (件)
公立阿伎留医療センター	6	5	5	4	3	2	4	3	3	3		3	38
東京西徳洲会病院	2	5	3	1	1	1		1			1	3	18
大聖病院	1		1	1				1	2				6
公立福生病院				1								2	3
目白第二病院	2	2	2	3	3	10	4	6	6	4	3	8	53
山口外科学医院	2		1	1				1				1	6
馬詰眼科	3	3	3	4		1	1	2	1	2	1	1	18
多摩リハビリテーション病院		1	1				1	2				1	6
災害医療センター						1							1
多摩総合医療センター								1					1
草花クリニック												1	1
濱松皮膚科												1	1
合計	16	13	16	15	7	15	10	10	15	8	6	21	152

前年度（令和4年4月～令和5年3月）病院受診者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10	3	18	13	16	5	19	8	12	9	10	10	133

令和5年4月～令和6年3月 実入院数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	1	4	1	11	8	3	2	2		1	5	40

病院受診者数 科別内訳 令和5年4月～令和6年3月

科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (件)
整形外科	5	3	3	6	3	8	2	5	5	3	2	6	51
皮膚科	2	4	2									4	12
脳神経外科	1		1			1	1	1		1	1	1	7
内科	2	1	3		1			1				2	10
外科		1											1
眼科	3		3	4		1	1		2	1	2	1	18
泌尿器科			2			2			2			2	8
循環器内科	2	1	1	2	3	1	2	1	2				15
形成外科		1											1
胃ろう交換		1	1				1		2			1	6
救急外来				1		2	1	1			1	4	10
心臓血管外科		1											1
婦人科								1	2				3
消化器						1		1					2
耳鼻科	1			1			1			1			4
腎臓内科				1			1						2
リウマチ内科								1					1
合計	16	13	16	15	7	15	10	10	15	8	6	21	152

会議・委員会報告

経営会議

参加職種/ 管理職	開催回数/24回
<p><u>主な議題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所の運営全般に関する事項 ・ 人事、研修に関する事項 ・ 財務に関する事項 ・ 事業計画、報告、予算、決算に関する事項 ・ 各種調査、加算、助成金に関する事項 ・ 新規事業（小多機）公募申請に関する事項 ・ 連携推進法人設立に関する事項 ・ その他経営判断を要する事項 	

運営会議

参加職種/ 管理職・役職・部署代表者	開催回数/12回
<p><u>主な議題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画、予算、事業報告に関する事項 ・ 加算算定に関する事項 ・ 規則等の改定等に関する事項 ・ 各種改修工事等設備に関する事項 ・ 施設サービス全体の改善に関する事項 ・ 業務改善に関する事項 ・ 各部署間、部署内の連絡体制に関する事項 	

主任リーダー会議

参加職種/ ケアワーカー	開催回数/12回
<p><u>主な議題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運営会議内容より、各フロア・グループに関連する事項の精査 ・ 部署および各グループ目標管理 ・ サービス内容に関する事項 ・ 業務内容に関する事項 ・ E 夜勤業務に関する事項 ・ シフト調整に関する事項 ・ 新人教育に関する事項 	

医務会議

参加職種/ 看護師	開催回数/12回
<p><u>主な議題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各会議、委員会における決定事項の周知。 ・ 各利用者対応の検討、決定。 ・ 看護業務の見直しの検討、決定。 ・ 新型コロナウイルス感染症及び疥癬関連の対策の周知。 ・ チーム連携への取り組みの検討、決定。 ・ 職員、利用者の健康診断対応に関する確認。 ・ 新入職員の教育 	

厨房会議

参加職種/ 管理栄養士・栄養士・調理	開催回数/12回
<p><u>主な議題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画の進捗 ①検食簿コメントの評価取り入れ分析と対策を検討・検食簿の表記変更 ②特別食の提供(お誕生者の誕生日に希望の1品提供・お寿司希望選択・行事食の内容検討、実施後の振り返り) ・ 各部署との連携 ・ 栄養特別加算について報告 ・ 備品・消耗品・設備の状況を踏まえた発注と導入に向けた動向の説明 ・ 業務改善 	

各グループ会議

参加職種/ ケアワーカー	各グループ原則毎月1回
<p><u>主な議題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度のグループ目標 ・ グループご利用者の個別対応について ・ 各委員会からの周知伝達 ・ 新人職員の教育について ・ ご利用者衣替えについて ・ グループ業務について ・ 福祉用具の使用について 	

衛生委員会

参加職種/ 産業医・衛生管理者・事務局長・看護師・ケアワーカー・その他必要と認める部署	開催回数/12回
<u>主な議題</u> <ul style="list-style-type: none">・職員健康診断、夜勤従事職員の健康診断・インフルエンザ予防接種利用者職員予定通り実施・ストレスチェック実施 ⇒ 集団分析結果より考察・労働災害申請案件の確認と予防対策の検討・労働事故に関する職場内リスクチェック・その他職場環境の保全等・O-157、インフルエンザ、レジオネラ菌、ノロウイルス等の発生なし	

防災委員会

参加職種/ 施設長・施設長補佐・防火管理者・生活相談員・ケアワーカー・調理員	開催回数/11回
<u>主な議題</u> <ul style="list-style-type: none">・施設内防災設備、環境の巡視・防災訓練の実施・福祉避難所開設訓練の実施・防災関係マニュアルの整備・施設環境の問題点の抽出、改善	

入退所検討委員会

参加職種/ 施設長・施設長補佐・事務局長・生活相談員・介護支援専門員・介護主任・看護主任	開催回数/12回
<u>主な議題</u> <ul style="list-style-type: none">・稼働率・入退所状況の確認・入院者の状況確認・入所希望者の状況確認、入所順位の決定・ショートステイ利用状況の確認	

リスクマネジメント/福祉用具委員会

参加職種/ 施設長・施設長補佐・生活相談員（安全対策担当者）・介護支援専門員・ケアワーカー・看護師	開催回数／12回
<u>主な議題</u> <ul style="list-style-type: none"> ・発生したヒヤリハット、事故に関する検証、再発防止策の検討 ・介護のルールの確認 ・研修の企画、開催 ・救急対応マニュアル等の見直し ・福祉用具の使用について 	

人権擁護/サービスマナー委員会

参加職種/ 施設長・施設長補佐・生活相談員・ケアワーカー・看護師	開催回数／11回
<u>主な議題</u> <ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束該当事項の確認。 ・身体拘束の実施状況の確認（令和5年度は実施無し） ・不適切対応の確認 ・言葉遣いについて ・虐待防止指針の見直し ・教育、研修について ・虐待の芽チェックリスト（職員アンケート）実施 	

褥瘡予防委員会

参加職種/ 施設長・介護支援専門員・看護師・管理栄養士・ケアワーカー・機能訓練指導員	開催回数／12回
<u>主な議題</u> <ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡発生者の介護計画立案、周知、状態報告 ・毎月褥瘡対策に関するスクリーニング・ケア計画書、高リスク者を確認、報告、周知 ・褥瘡予防に関する研修の実施 ・エアマット環境整備 ・体交用具、除圧用具の選定 	

感染症対策委員会

参加職種/ 施設長・介護支援専門員・看護師・ケアワーカー・調理師	開催回数/ 12 回
<p><u>主な議題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況確認、対応の周知 ・新型コロナウイルス感染予防及びびまん延防止マニュアルの作成、感染症予防指針の見直し ・感染症予防に関する研修の企画実施（年2回及びグループ会議） ・感染予防のための物品（消毒液、ノロセットなど）の配置、使用状況の確認 ・感染症発生時の臨時委員会の実施 	

教育/医療的ケア委員会

参加職種/ 施設長補佐（看護師）・生活相談員・介護支援専門員・ケアワーカー	開催回数/12回
<p><u>主な議題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機器取り扱いに関する研修の企画、実施 ・嚥下と食事介助に関する研修の企画、実施 ・看取り介護に関する研修の企画、実施 ・特定行為業務（喀痰吸引）実施状況の確認 ・個別ケース（喀痰吸引、在宅酸素の使用等）の状況確認 ・ケアマニュアル、教育マニュアルの見直し、整備 ・チューター制度の構築 	

Drink創作検討会議

参加職種/ 施設長補佐・介護支援専門員・ケアワーカー	開催回数/10回
<p><u>主な議題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動喫茶の運営 ・提供する飲料の見直し ・日々の飲水量の確認 ・飲水補給促進の方法を検討 	

令和5年度 内部研修一覧

日付	対象	講師	内容	参加人数
5月11日	全職員	人権擁護サービスマナー委員	人権擁護	4名
5月16日	介護職員	介護主任	緊急時対応	2名
5月18日	介護職員	看護師	排泄機能	6名
5月25日	介護職員	介護リーダー	排泄機能 排泄介助	3名
5月31日	全職員	施設長	特養の仕組み 加算	1名
6月1日	新人職員	生活相談員	事故予防	2名
6月2日	全職員	外部講師	おむつパットの基本研修	5名
6月8日	全職員	介護職員	感染症	13名
7月1日	介護職員	介護主任	入浴介助	1名
7月6日	介護職員	看護主任	医療器具の取り扱い	7名
7月3日	新人職員	施設長	個人情報保護 人権擁護 感染症	4名
7月3日	介護職員	相談員/介護主任	嚥下と誤嚥	2名
7月5日	介護職員	介護職員	入浴介助	2名
7月13日	全職員	介護職員	リスクマネジメント	12名
7月18日	介護職員	施設長補佐	嚥下と誤嚥	1名
7月20日	全職員	生活相談員	看取り介護	9名
8月1日	介護職員	施設長補佐	嚥下と誤嚥	3名
8月3日	介護職員	介護/機能訓練士	ポジショニング 体位交換	6名
8月3日	介護職員	介護支援専門員	アセスメント モニタリング	1名
8月16日	介護職員	機能訓練指導員 介護職員	ポジショニング 体位交換	2名
8月21日	新人職員	施設長	個人情報保護 人権擁護 感染症	3名
8月22日	新人職員	施設長補佐	看取り介護	2名
8月23日	介護職員	管理栄養士	栄養マネジメント 食事形態	2名
8月24日	全職員	外部講師	リフト研修	6名
9月13日	全職員	介護職員	認知症ケア	4名
9月14日	全職員	生活相談員 介護職員	リスクマネジメント	15名
9月20日	全職員	生活相談員	介護保険制度	4名
9月21日	全職員	施設長 介護職員	人権擁護	9名
9月27日	全職員	施設長補佐	認知症 認知症ケア	4名
10月2日	新人職員	施設長 生活相談員	個人情報保護 人権擁護 事故予防	1名
10月4日	介護職員	介護職員	ケアプラン・記録	5名
10月11日	介護職員	看護師	排泄機能	3名
10月18日	介護職員	介護職員	排泄機能 排泄介助	2名
10月20日	全職員	施設長	特養の仕組み 加算	9名
11月1日	介護職員	機能訓練指導員	移乗介助(演習)	4名
11月1日	介護職員	機能訓練指導員	移乗介助(演習)	4名
11月2日	新人職員	施設長 施設長補佐	高齢者基礎 事故予防 看取り介護	3名
11月6日	新人職員	施設長	個人情報保護 人権擁護	1名
11月8日	介護職員	施設長補佐	嚥下 誤嚥	3名
11月9日	全職員	人権擁護サービスマナー委員	サービスマナー/倫理	12名
11月10日	新人職員	施設長	感染症	1名
11月14日	新人職員	生活相談員	事故予防	1名

11月16日	全職員	感染症委員	排泄物 嘔吐物の処理	15名
12月6日	介護職員	介護職員	緊急時対応	5名
11月29日	介護職員	介護職員	食事介助	2名
12月11日	新人職員	施設長 施設長補佐	人権擁護 個人情報保護 看取り介護	2名
12月14日	全職員	人権擁護サービスマナー委員	ハラスメント研修	12名
12月11日	新人職員	施設長補佐	感染症	2名
1月6日	介護職員	施設長補佐	褥瘡予防	3名
1月17日	介護職員	機能訓練士	ポジショニング 体位交換	5名
1月19日	介護職員	施設長補佐	脳卒中 認知症	2名
2月8日	全職員	介護職員	事故予防 苦情対応	6名
2月14日	介護職員	施設長補佐	嚥下 誤嚥	3名
2月14日	介護職員	外部講師	リフト研修	8名
2月15日	介護職員	施設長	記録	11名
2月28日	介護職員	介護職員	おむつパットの基本情報	5名
3月2日	全職員	施設長	個人情報の保護	4名
3月6日	介護職員	介護/機能訓練士	移乗 移乗介助	2名

令和5年度 外部研修・出張一覧

職名	対象者氏名	実施日	目的地	目的(内容)	主催者(相手先)
事務	松波雅紘	2024/5/22	ZOOM	SWINGシステム 電子開示システム連携セミナー	CIJ
生活相談員	立川貴史	2024/6/23	あきる野市	秋川ブロック会生活相談員研修会	東社協
医務	柴田睦子	2024/6/21	ZOOM	阿伎留医療介護アカデミー	阿伎留医療センター
ケアワーカー	滝澤瑞明	2024/6/21	ZOOM	〃	〃
管理栄養士	島田裕介	2024/7/11	飯田橋	栄養士の為の情報交換会	東社協
ケアワーカー	滝澤瑞明	2024/7/21	日の出町	ひのでホーム交流研修	麦久保園
機能訓練指導員	佐久間勝也	2024/8/4	飯田橋	ICFと褥瘡予防の観点に基づいたポジショニング・シーティング	東社協
機能訓練指導員	清水英樹	〃	〃	〃	〃
ケアワーカー	角城悠介	2024/8/25	あきる野市	登録講師派遣事業 介護記録の書き方の基本	生活と福祉マインド研究室
ケアワーカー	橋本光平	2024/8/25	あきる野市	〃	〃
ケアワーカー	原島 淳	2024/8/30	ZOOM	第1回SOEL COMMUNITY ミーティング	東社協
ケアワーカー	平岡裕哉	2024/8/30	ZOOM	介護職員スキルアップ研修	東社協
ケアワーカー	森田洋介	2024/8/30	ZOOM	〃	〃
ケアワーカー	原島 淳	2024/9/5	国立市	入浴機器見学	オージー技研
ケアワーカー	平岡裕哉	〃	〃	〃	〃
ケアワーカー	滝澤瑞明	〃	〃	〃	〃
ケアワーカー	森田洋介	〃	〃	〃	〃
ケアワーカー	原島 淳	2024/9/11	青梅市	特別養護老人ホーム長洲園交流研修	麦久保園
ケアワーカー	原島 淳	2024/9/12	ZOOM	介護職員スキルアップ研修 医療知識編	東社協
ケアワーカー	滝澤瑞明	2024/9/12	ZOOM	介護職員スキルアップ研修 医療知識編	東社協
ケアワーカー	平岡裕哉	2024/9/26	ZOOM	介護実習指導者講習 介護の歴史	しかくの学校ホットライン
ケアワーカー	森田洋介	〃	〃	〃	〃
ケアワーカー	原島 淳	2024/10/3	飯田橋	福祉用具の使い方	東社協
ケアワーカー	角城悠介	〃	〃	〃	〃
ケアワーカー	平岡裕哉	2024/10/3	ZOOM	介護実習指導者講習 CIFの活用	しかくの学校ホットライン
ケアワーカー	森田洋介	〃	〃	〃	〃
ケアワーカー	原島 淳	2024/10/10	新宿区	入浴機器見学	サカイ医療
ケアワーカー	平岡裕哉	〃	〃	〃	〃
ケアワーカー	平岡裕哉	2024/10/17	ZOOM	介護実習指導者講習 スーパービジョンについて	東社協

令和5年度行事報告

前年度は、新型コロナウイルス感染症の流行のため行事の中止を余儀なくされました。今年度は、施設内での感染症の発症もあり中止せざるえない行事もありつつ、ご利用者様に季節を感じ、楽しんでいただけるような行事を企画しています。

実施月	行事項目	行事内容
4月	お花見ハイク (チューリップ他)	根がらみ前水田へチューリップや水車、鯉を観覧し、写真撮影をおこなっています。会館でお囃子を行っており獅子舞や狐の踊りをみてご利用者様はリズムをとったり、とても楽しんでおりました。
5月	動物園散策	動物に会いにヒノトントンZOO(羽村市動物公園)へ行きました。さるやシマウマなど様々な動物と触れ合いご利用者様も喜んでいました。
5月	秋留台公園散策	近くの公園へお散歩へ。小雨のため傘をさしてバラ園を散策しました。ご利用者様からは「雨の日に来るのも風流でいいね」など喜んでいただきました。
5月	八代亜紀 オンラインコンサート	八代亜紀さんのコンサートを視聴しご利用者みなさまで盛り上がりました。
6月	お花見ハイク (吹上菖蒲公園他)	中止
6月	デザートワゴンサービス	色々な種類のデザートをご用意。ほうじ茶プリン・紫陽花ゼリー・昔ながらのプリン・チョコテリーヌ・バナナポート等々、「美味しい」ととても喜んでいただけました。
7月	七夕会	ご利用者様とお願い事を書いて笹に飾り付けを行いました。
8月	水族館	中止
9月	敬老の集い	ご利用者みなさまで集まり敬老の集い開催し、節目の歳の方・長寿の方のお祝いをいたしました。余興も大変盛り上がり、ご利用者様も歌と一緒に口ずさむ様子もありました。節目の歳の方・長寿の方の写真を一人一人撮影させていただきご家族様へお送りしています。
10月	小さな秋祭り	お囃子と盆踊りを楽しみました。たこ焼きとおやつを提供させていただきました。お囃子を見ながら手拍子をし、笑顔で楽しまれていました。
10月	ハロウィン	海外のお祭りですが、職員が仮装を行いおやつを提供させていただき、雰囲気味わっていただき、とても喜ばれました。
11月	あきる野市民文化祭	日頃、施設内でご利用者様が制作している作品を出展しています。展示会場で自身で作った作品や写真を実際にみてとても喜ばれていました。
	紅葉ハイク	青梅市方面へ紅葉をみにドライブを行いました。途中、へそまんじゅう総本舗へ立ち寄り、へそまんじゅうを頂きました。
	パン祭り	かぼちゃパン、ヨモギ、ココア、紫芋など数種類のパンを召し上がって頂きました。ご利用者様からは美味しと好評でした。
12月	クリスマス会	クリスマス会では、軽食とDrinkの提供をさせていただき、召し上がりながら大道芸の観覧や職員有志バンドの演奏を聴き、クリスマスを味わっていただく事ができました。
	餅つき	昔ながらの石臼と・杵とでご利用者様と職員とで一緒に餅をついています。出来たてのおもちをみなさまで召し上がって頂きました。
1月	新年会	ご利用者様一同に集まって頂き、新年の会食を開催しています。おせつ料理を提供させていただき、お正月を感じて頂いています。
	初詣	近所の神社へご利用者様と参拝しています。お賽銭を入れそれぞれお願い事をされている姿が印象的でした。その後に記念写真の撮影をしました。季節を感じて頂きとても喜ばれていました。
	里見浩太郎 高齢者福祉施設限定 オンラインコンサート	里見浩太郎さんの歌声をご利用者様みなさま聞き入っていました。知っている曲が歌われると、とても楽しんで口ずさんでいました。
2月	節分	職員が鬼に扮し、ご利用者様にボールを当てて頂き"鬼は外、福は内"の掛け声と共に節分の気分を感じていただきました。
	開園記念日に今川焼を食べよう	ご利用者様の目の前で今川焼を焼き、召し上がって頂きました。
3月	ひな祭り	ご利用者様とひな人形を作成を行っています。一生懸命に集中して作成していました。喫茶ではひななれとDrinkを提供させて頂いています。
	観梅ハイク	中止
	すし	ご利用者様の目の前で寿司を握り、召し上がって頂きました。数種類のネタを提供させて頂いています。とても、美味しいと喜ばれています。

令和5年度クラブ活動報告

書道、カラオケクラブ、悠悠クラブ参加者

開催月	クラブ活動	ご利用者参加人数
4月	カラオケクラブ	21名
5月	書道クラブ	2名
9月	書道クラブ	6名
	悠悠クラブ	5名
11月	カラオケクラブ	20名
12月	書道クラブ	3名
	悠悠クラブ	5名
1月	書道クラブ	6名
2月	書道クラブ	4名
3月	書道クラブ	2名
	悠悠クラブ	7名

令和 5年度面会人数

	2階	3階	計
4月	24 人	22 人	46 人
5月	27 人	17 人	44 人
6月	18 人	10 人	28 人
7月	26 人	4 人	30 人
8月	4 人	8 人	12 人
9月	7 人	16 人	23 人
10月	38 人	11 人	49 人
11月	36 人	21 人	57 人
12月	42 人	24 人	66 人
1月	69 人	28 人	97 人
2月	63 人	32 人	95 人
3月	36 人	3 人	39 人
計	390 人	196 人	586 人

令和5年度ボランティア月別人数			
4月	11	10月	9
5月	12	11月	7
6月	13	12月	11
7月	14	1月	10
8月	12	2月	9
9月	11	3月	12
計	131		

Ⅲ. 短期入所生活介護 麦久保園

短期入所生活介護事業報告

生活相談員 渡邊江美

令和5年度もご利用者が可能な限り住み慣れた環境で暮らせるようにご家族、医療、介護、地域と連携を図りながら、円滑な利用調整と情報共有により事業の目的及び効果的な運営に努めました。

【事業目標】

1. ご利用者やご家族の立場に立ったサービスを考えます。
2. ご利用者、ご家族に安心と幸せを感じていただけるサービスを提供します。
3. 稼働率80%を実現します。

【事業報告】

1. 在宅生活維持が図れるように身体面・環境面のアセスメントをしっかりとこない個別支援・重度化防止に努めた。
2. 担当ケアマネジャー・各サービス事業所と連携を図り、ご利用者世帯全体のニーズを理解し支援に努めた。また、緊急ショートステイも積極的に受け入れた。
3. 今年度の短期入所生活介護の稼働率は95.4%と昨年度より4.7ポイント増でした。空床を利用し稼働率100%超の月が3か月ありました。

ショートステイ利用状況

	利用延べ人数(実人数)	利用延べ日数	平均利用日数
計	168人(43)	2445日	14.5日